

## 河北ライティングソリューションズ株式会社

SAP® ERPのスピーディーな情報共有環境で  
グローバルビジネスの成長基盤を構築

### 業種

特殊(業務機器組み込み用)ハロゲンランプ  
および放電ランプの開発、製造と販売

### 年間売上高

約27億円(2016年度)

### 従業員数

130名(2017年3月現在)

### 本社

宮城県石巻市

### URL

[www.kls-co.com/](http://www.kls-co.com/)

### ソリューション

SAP® ERP

### 活用分野

財務会計、管理会計、販売管理、在庫/購買管理、  
生産管理、DWH

### 導入パートナー

株式会社アイ・ピー・エス

宮城県石巻市に本社を構え、半導体製造装置、医療用分析装置などで用いられる特殊ハロゲンランプや放電ランプの開発・製造で、海外の顧客からも高い評価を受ける河北ライティングソリューションズ株式会社。同社は20年以上にわたって全社の事業を支えてきたシステムをSAP® ERPで刷新。**スピーディーな意思決定を支える経営と現場の情報共有を実現し、持続的な成長を支える経営基盤を活用したグローバルビジネスでの新たな飛躍を目指しています。**

### 導入の背景

- 製造現場に最適化された既存システムの管理  
負荷と機能的な限界
- グローバルビジネスの成長を見据えた、経営  
と業務の品質を高める持続的な経営基盤の  
再構築
- スピーディーな情報共有と意思決定の実現

### 導入成功のポイント

- 標準機能に業務を合わせるポリシーの徹底
- 業務の現場に精通した各部門からのメンバー  
の参画
- SAPパートナーから提供される製造業向け  
テンプレートの有効性
- SAPパートナーの手厚い支援、エコシステム  
の付加価値

### SAP選択の理由

- 製造業におけるグローバルでの豊富な導入実績
- 長期的な成長基盤としての投資価値
- 複雑な製造プロセスにも対応する柔軟性
- 標準機能を活用した業務プロセスの見直し
- 追加開発のリスクが少ないパッケージのメリット

### 導入効果

- 経営から業務の現場に至るスピーディーな情  
報共有の実現
- リアルタイムな情報に基づく精度の高い意思  
決定
- 業務プロセスの見直しを通じた社員の意識向上
- 未来を見据えた持続的な経営基盤の確立
- 海外拠点と連携したグローバルビジネスの環  
境整備

## お問い合わせ先

[www.sap.com/japan/contactsap/](http://www.sap.com/japan/contactsap/) | 0120-786-727 (受付時間: 平日 9:00~18:00)

50000035 (SE/17/03) © 2017 SAP SE or an SAP affiliate company. All rights reserved. 本書のいかなる部分も、SAP SE または SAP の関連会社の明示的な許可なくして、いかなる形式でも、いかなる目的にも複製または伝送することはできません。本書に記載された情報は、予告なしに変更されることがあります。SAP SE およびその顔ぶれ業者によって販売される一部のソフトウェア製品には、他のソフトウェアベンダーの専有ソフトウェアコンポーネントが含まれています。製品仕様は、国ごとに変わる場合があります。これらの文書は、いかなる種類の表明または保証もなしで、情報提供のみを目的として、SAP SE またはその関連会社によって提供され、SAP またはその関連会社は、これら文書に関する誤記脱略等の過失に対する責任を負うものではありません。SAP またはその関連会社の製品およびサービスに対する唯一の保証は、当該製品およびサービスに伴う明示的保証がある場合に、これに規定されたものに限られます。本書のいかなる記述も、追加の保証となるものではありません。特に、SAP SE またはその関連会社は、本書もしくは関連会社の提示物に記載される業務を遂行する、またはそこに記述される機能を開発もしくはリリースする義務を負いません。本書、もしくは関連会社の提示物、および SAP SE もしくはその関連会社の戦略ならびに将来の開発物、製品、および/またはプラットフォームの方向性ならびに機能はすべて、変更となる可能性があります。SAP SE もしくはその関連会社により随時、予告なしに変更される場合があります。本書に記載される情報は、何らかの具体物、コード、もしくは機能を提供するという確約、約束、または法的義務には当たりません。将来の見通しに関する記述はすべて、さまざまなリスクや不確定要素を伴うものであり、実際の結果は、予測とは大きく異なるものとなる可能性があります。読者は、これらの将来の見通しに関する記述に過剰に依存しないよう注意が求められ、購入の決定を行う際にはこれらに依存するべきではありません。本書に記載される SAP およびその他の SAP の製品やサービス、ならびにそれらの個々のロゴは、ドイツおよびその他の国における SAP SE (または SAP の関連会社) の商標もしくは登録商標です。本書に記載されたその他のすべての製品およびサービス名は、それぞれの企業の商標です。商標に関する詳細の情報や通知に関しては、<http://global.sap.com/corporate-en/legal/copyright/index.aspx> をご覧ください。

## グローバルビジネスでの成長を見据え 現場を20年以上支えたシステムを刷新

2006年にフィリップス社から独立して、現在の経営体制に移行した河北ライティングソリューションズは、半導体製造装置、医療用分析装置などで用いられる特殊ランプの製造・開発におけるリーディングカンパニーです。その製品は欧州、米国、中国、韓国などでも広く供給され、2013年にはベトナムの新工場が始動するなど、アジア市場への供給体制も強化が進められています。

そんな本社にとって大きな経営課題となっていたのが、製造現場を含めた全社の業務を支えるIT環境でした。業務部ITグループの課長を務める新谷優氏は、次のように話します。

「当社では20年以上もの長きにわたって、現場の要望に応える形で1つのシステムを改修しながら使い続けてきました。これは現場にとっては使い勝手のいいシステムでしたが、メンテナンスの負荷が大きい上に、日々の生産情報をリアルタイムで把握したい、グローバルビジネスの強化を図りたいといった経営陣の要求に応えられる仕組みではありませんでした」

こうした状況において、既存のシステムが保守期限を迎えることもあり、当社ではグローバルビジネスでの未来の成長を見据え、スピーディーな情報共有と精度の高い意思決定を支援する新たな基幹システムの導入を2015年に決断しました。

「その選択肢として、当初は国産のパッケージを含めた複数の製品が候補に挙げられました。もちろん、世界的に評価の高いSAP® ERPも候補の1つです。しかし、当社の事業規模を考えると投資が高額であることに加えて、パッケージ製品でどこまで製造現場の複雑なプロセスをカバーできるのかといった点で、社内からは懐疑的な意見も聞かれました。また、当社にSAP ERPのノウハウがないことも不安材料でした」(新谷氏)

## 明確な投資回収の見通しと SAPのエコシステムの付加価値

最終的に河北ライティングソリューションズがSAP ERPの導入を決断するきっかけとなったのが、製造業のノウハウに強みを持つSAPパートナーからの提案でした。このパートナーから提供される製造業向けテンプレートを活用することで、複雑なプロセスの大部分をカバーできることがわかり、それによる開発コストの抑制、稼働後のメンテナンスの負荷軽減を踏まえると、現状の事業規模においても十分な投資回収の見通しをつけることができたといえます。

「当初の想定ほど投資規模が高額にならなかった点と、導入支援体制のめどがついたことは大きいですね。こうした点はSAPそのものというより、周辺も含めたエコシステムの付加価値だと思えます。とはいえ、安い買い物ではありませんので、ここは経営陣の英断でした。スピーディーな情報共有と意思決定を支える持続的な経営基盤の構築という経営のビジョンと、SAP ERPの設計思想が一致したということです」(新谷氏)

たしかに国産のパッケージ製品をカスタマイズすれば、複雑な製造プロセスに最適化されたシステムは作り上げることができます。しかし、それでは改修のたびにコストが発生する従来の個別最適のシステムと同じになってしまい、経営の品質、業務の品質を次のステージへと押し上げることはできません。導入コストを未来への投資ととらえ、社内の反発も覚悟した上での経営陣の決断は、まさに大きな飛躍に向けた第一歩でした。

## アジアの拠点間の連携も強化し SAP ERPの投資価値を向上

約1年の導入期間を経て、河北ライティングソリューションズでは2017年1月からSAP ERPの本格運用を開始しました。新谷氏は今後について、次のように話します。

「まだインフラが整った段階ではありませんが、すでに一部のユーザーからは『こういう使い方をすれば、自分の業務でかなりの効果が出せる』といった声が出ています。SAP ERPの導入は現場のプロセスを見直す絶好の機会となるだけに、今回のプロジェクトはすべての社員の成長を促す意味でも大きな意義がありました。こうした声が全社に広がっていけば、新たな経営基盤への投資価値はさらに高まります」

また直近の課題として、ベトナム工場とのシステム連携があります。これが実現すれば、アジアの拠点を横断したスピーディーな情報共有と意思決定がさらに強化され、当社がグローバルビジネスで競争力を発揮するための新たなスタートになるはずだ。

持ち前の技術力を生かして世界の市場での成長を目指す中堅・中小企業のビジネスにおいて、SAP ERPは優れた柔軟性を発揮します。SAP ERPを活用した変革に取り組み、新たな飛躍を遂げようとしている同社のチャレンジは、まさに貴重なモデルともいえるものです。

「経営の品質、業務の品質を次のステージへと押し上げるための持続的な成長基盤の構築という当社のビジョンと、SAP ERPの設計思想が一致したということです」

新谷優氏 河北ライティングソリューションズ株式会社 業務部ITグループ 課長



The Best-Run Businesses Run SAP®